

韓国古文獻の世界

한국 고문헌의 세계

●シンポジウムの概要

京都大学附属図書館に所蔵される河合文庫は、河合弘民（1872～1918）博士によって収集された朝鮮古文獻の一大コレクションとして知られています。この度、高麗大学校民族文化研究院・京都大学人文科学研究所による共同調査の成果となる同文庫の目録（新版）が刊行されることを記念して、調査の過程で得られた新発見などの一端を示すシンポジウムと公開展示を開催します。

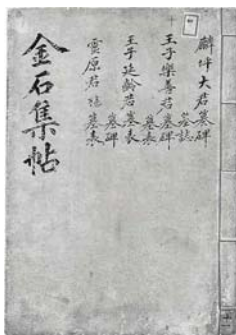
●プログラム

通訳 京都産業大学教授 朴真完 京都産業大学助教 杉山豊

9:30	開場, 受付開始	
10:00~10:10	開会挨拶	京都大学附属図書館長・図書館機構長 引原隆士
10:10~10:40	「河合文庫概観」	富山大学名誉教授 藤本幸夫
10:40~11:30	「筆記雑録の特徴と意義」(河合文庫所蔵筆記雑録の特徴と意義)	高麗大学校教授 鄭雨峯
11:30~11:40	【休憩】	
11:40~12:10	「朝鮮燕行録の世界—河合文庫所蔵、趙顕命『帰鹿集(潘行日記)』に見える中国観察」	京都大学名誉教授 夫馬進
12:10~13:30	【休憩】	
13:30~14:20	「金石集帖の特徴と意義」(「金石集帖」の特徴と意義)	高麗大学校教授 沈慶昊
14:20~14:40	「河合文庫所蔵『遺稿』の著者、鄭元淳について」	鶴見大学教授・京都大学名誉教授 金文京
14:40~15:30	「朝鮮後期서울名家の家計經營—河合文庫所蔵安東金氏金壽增朝妹分財記—」 (朝鮮後期ソウル名家の家計經營—河合文庫所蔵安東金氏金壽增朝妹分財記)	韓国学中央研究院古文書研究室長 安承俊
15:30~15:40	【休憩】	
15:40~16:30	「文集の特徴と意義」(河合文庫所蔵文集の特徴と意義)	高麗大学校研究教授 朴英敏
16:30~16:50	「河合文庫所蔵朝鮮時代家屋売買文書から見たソウルの民家」	鶴見大学教授・京都大学名誉教授 金文京
16:50~17:00	閉会挨拶	京都大学人文科学研究所長 高木博志

主催：高麗大学校民族文化研究院，京都大学人文科学研究所 共催：京都大学附属図書館

平成30年度 図書館機構貴重書公開展示



金叢
(1682~1759)
金石集帖



金壽増分財記
(1672年)



●公開展示の概要

「韓国古文獻の世界—京大河合文庫目録刊行記念シンポジウム」の開催に合わせて、京都大学附属図書館所蔵の韓国古文獻に関する貴重書など12点を公開展示いたします。ぜひこの機会にご覧ください。

主催：京都大学図書館機構

シンポジウム・公開展示に関するお問い合わせ

京都大学附属図書館 TEL：075-753-2613